令和7年10月26日執行



美和町議会議員一般選挙公報

長和町選挙管理委員会

~現役ママの視点から、子どもに豊かな未来を~

の廃止、防災備蓄へのミルク・オムツ・生理用品・高齢者向け用品の追加など、 生活に直結する課題を提案し、実現につなげてきました。2期目も町民の皆さ んと一緒に考え、一緒に進めていく「参加型のまちづくり」をめざして新たな チャレンジを続けていきます。

★子育て世代を支える環境づくり

送迎支援(部活動タクシー等)の充実や、有機給食の推進、児童クラブや 児童館の環境整備、子どもの居場所づくりを進めます。子供たちの未来を

フィットネスやプールの整備、スポーツや文化活動の充実、温泉や食 を活かした健康・美容の取り組みを後押しします。

防災計画に子供・は性・障がい者・高齢者の視点を盛り込み、またペット 防災と避難場所を明確にし、だれひとり取り残さない防災を進めます。

ゴミのポイ捨て防止やPFAS問題に取り組み、省エネ・断熱改修や管

品ロス削減を進め、持続可能な長和町を目指します。

★未来に向けた決断と構築

人口減少の中で無駄を減らし、未来につなかる施策に集中。町民の皆さんとの対話を重ね、持続可能な町づくりを進めます。

選挙期間中は選挙カーで目的地まで移動して、そこから歩けるだけせいてゴミ拾いをします。見かけたら気軽に声をかけてくださいね!

●町・国の支援で大幅に抑制

■子育て支援をさらに充実 ●未満児(0歳~2歳)保育料を無料に ●子ども国保税均等割を全額補助へ

●国保税・介護保険料の引き下げ

国にも意見キッパリ

あなたの声を町の未来へ

■安心の老後へ医療・介護手厚ぐ

●高齢世帯の安心・安全へ行政・住民の見守り支援

●空き家登録の登記・片付け費用に行政の支援を

●観光資源・子育て支援など町広報を抜本改善

★外国人差別・排外主義は許さない

みなさんの意見を町政に活かすために考え行動します。

長和町の持っている潜在的な可能性を活かさなければなりません。

みなさんは行政でしている仕事をどれくらいご存じでしょうか?

町議会議員、一人では町政に対し政策を変更させる力はありません。

知らないまま、この町で暮らすことは、とても、もったいないことだと思います。

長和町議会として町政に対し政策を提言できる議会づくりのため邁進いたします。

私に教えてくださいみなさんの考えを。町の明るい未来のために一緒に歩みましょう。

産業の基盤になる財産は長和町の中にありませんか?

今ある長和町の財産が最大限活用されていますか?

■移住定住促進、町の魅力を内外に発信

★大軍拡やめ暮らしに予算を 消費税減税5%に

2期目もがいばります! 13"あんゆきュ 00

暮らしが大変 こんな時こそ

■上下水道料金25%引き上げストップ





@_@@@@@





かけに、食の空全、エネルギーや食料の自給を求めて長和町に移住。現在は高校生の長男と小2の次男、大との4人で「農ある薑らし」を継続中。号和3年12月より長和町議会議員となり、廿性の視点と子子別の7月まれた。



しっかり

福

長和町議2期、社会文教委 員長など歴任。1951年生れ。

長和町議会議員候補

荻野 友-





姫木自治会事務局長



心心の増進 次の長和町へ。ともに一歩をふみ出そう。

わたしが感じている地域の課題

人口減少による町の存続が課題

ます。人を増やすための努力をもっと積極的に実施し、**人が増える町に変え ていく**必要があります。

住み続けるための仕組みが弱い ステージに応じた選択肢を、<u>柔軟に整えていく</u>必要があります。

場所がない、制度がない、応援の仕組みがない…。そんな声を拾い、<u>小さな</u> <u>挑戦が芽を出せる環境</u>を整えたいと考えています。

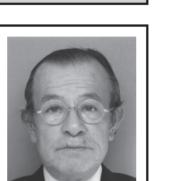
現光の声が届かない、届いても動かない からの要望や提案などが、なかなか行政に届かない、形にならない現状。**声**

を集め、現場から動かせる議会を目指します。 977年静岡県出身。長和町在住。1児の父。東京でアパレル業界に 20年以上従事し、 令和4年5月に地域おこし協力隊として、長和町に移住。現在は、NPO法人和田のあ





- ◆ 大事なことにはきちん
- ◆ 効果的なブランディングで町 の観光特産品の価値を高めま
- るための防災の組織や仕組み、 病院等の充実強化を図ります



た

 \mathcal{O}

9

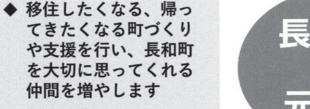












- とお金を使い、無駄遣 いはしない、メリハリ のある町財政を目指し
- ◆ 安心して暮らせる町を維持す
- ◆ 町民の意見を集約し、政策提 言ができる議会を作ります

長和町を もっと 元気に!

よいところがいっぱいの長和町。 このままではもったいないと思います。 移住者ならではの視点を生かして 町の魅力を再発見し プロデュースしていきたいです。



1976 (昭和51) 年山梨県甲府市生まれ/甲府 監督を約10年間/2011 (平成23) 年~株式会



古岡 ま

町にもっと「人の流れ」を。

笑顔と活気がめぐる町へ。 私は、町がもっと元気になってほしいと思っています。そのためには、まず「人の流れ」 を活発にすることが大切だと考えています。人が行き来することで、新しい出会いやア イデアが生まれます。町の魅力をたくさんの人に知ってもらえば観光や移住、交流の機 会が増えて地域の経済や文化、教育にも良い影響を与えるはずです。人と人がつなが

> 「町の声を届ける」)声が届きにくい世代の声をすくい上げ、町づくりに参画できる場を広げます。 |満足度を上げる | 子育てや医療、介護や福祉など日常の困りごとに応え、解決していきます。 「選ばれる町」へ)移住・交流・観光に力を入れ、住んで良し、訪れて良しの町を目指します。

ると、自然と議論や会話が生まれます。そこから町の課題に気づき、みんなで考え、解

決のチャンスをつかむことができる。そんな流れをつくっていきたいと考えています。

制作会社 代表取締役社長

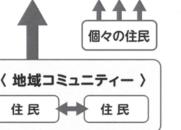
● 2012年 国際基督教大学 (ICU) 教養学部教育学科卒業 ● 2019年 武蔵大学社会学部非常勤講師に就任 (7年目) ● 2024年 17年住んだ東京から長和町に移住



私たち住民が 主役の町に!









若い力でもっと住みよい町に

『一丁環境の整備を。

方策を。

層の充実を。

わのら

れ立

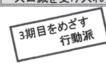
ぬ場

平成11年 智山専修学院入学 平成11年 智山専修学院卒業 平成12年 種智院大学入学 平成16年 種智院大学卒業 平成16年 真言宗智山派宗務庁

平成 9年 東京工科大学中退 平成22年 同所退職 平成22年 菩薩寺勤務



して基金の増大を。 最大の効果を発出



【過疎は過疎でも にぎやかな、過疎の町にする!】

63

平成 7年 東京工科大学入学

